

環境白書の刊行にあたって



愛媛県は、世界有数の多島美を誇る瀬戸内海や、変化に富んだリアス式海岸が続く宇和海、国定公園に指定されている西日本最高峰の石鎚山など、豊かで美しい自然に恵まれており、これらを健全な姿で次世代に引き継いでいくことは、私たちに課せられた極めて重要な使命です。

県におきましては、第六次長期計画「愛媛の未来づくりプラン」の下、「やさしい^{えがお}愛顔」があふれる愛媛を目指し、地球温暖化対策の推進や循環型社会の構築、生物多様性の保全など、かけがえのない環境を守る各種施策を展開しています。

特に、近年の地球温暖化による気候変動は、本県においても、豪雨災害や熱中症リスクの増大、農作物の品質低下など、さまざまな分野に影響をおよぼしていることから、昨年2月に策定した「愛媛県地球温暖化対策実行計画」に基づき、2050年の温室効果ガス排出を実質ゼロとする「脱炭素社会」の実現に向けた総合的な対策を進めているところです。

また、景観や海洋環境、船舶の航行などに悪影響を与える海洋ごみについても、市町等と連携して、回収や発生抑制対策を実施しているほか、昨年12月に日本財団や瀬戸内3県との間で「海洋ごみ対策に係る連携・協力に関する協定」を締結し、海ごみゼロを目指して、県境をこえた取り組みを地域一体となって推進しております。

今後とも、県民の貴重な財産である自然環境を守り、全国に誇れる環境先進県の実現に努めて参りますので、皆様方の一層の御理解と御協力をお願いいたします。

この「愛媛県環境白書」を通して、県民の皆様方の環境問題に対する関心と理解が深まり、環境保全に向けた取り組みが更に広がっていきますことを期待申し上げます。

令和3年12月

愛媛県知事 中村時広